

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 （社名）ー、除外 ー社 （社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年3月期2Q	11,961,100株	26年3月期	11,961,100株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	314株	26年3月期	314株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年3月期2Q	11,960,786株	26年3月期2Q	11,960,856株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の御利用に当たっての注意事項などについては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年4月1日から平成26年9月30日まで、以下「当第2四半期」）における世界経済は、欧州経済の悪化や新興国経済の鈍化、ウクライナ問題等による政情不安が米国景気にも影響し、世界経済の見通しが下方修正されたことから、世界全体として先行き不透明感が拭えない環境で推移しました。わが国においても、全体として底堅く推移しているものの、力強さの見られない景気の状態が続いております。

このような中、当社グループは、平成27年3月期（平成26年4月1日から平成27年3月31日まで）の基本方針として、「グローバル競争力強化による新顧客開拓と販売促進」を掲げ、顧客のニーズに合致した製品・品質・サービスを提供し、市場における確かな地位を確立することを目指して、更なる発展の基盤を築きあげることに取り組んでおります。

前述のような市場環境を背景に、当第2四半期の連結売上高は1,279百万円と、前第2四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年9月30日まで、以下「前第2四半期」）の1,466百万円に比して12.8%の減少となりました。主として、前第2四半期にOCT製品のまとまった売上があったことに対する反動減が大きく影響しております。これに伴い、営業損失は21百万円（前第2四半期は営業利益95百万円）となりました。

一方、為替差益の発生により経常利益は76百万円となりました。平成26年6月6日付「（開示事項の経過）OCT光源装置供給契約に関する状況変化について」および「特別利益の発生に関するお知らせ」で開示しました通り、取引先との間で円満合意が成立したことで、特別利益が発生いたしました。これを加え、当第2四半期の四半期純利益は214百万円となりました。前第2四半期の151百万円の四半期純利益に比して41.1%の増加となっております。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 光部品関連事業

光通信業界においては、データ通信量の増加を背景としてより広帯域の通信に対応した新規格への切替が進んでおりますが、活況となっているのは局舎＝加入者間通信（いわゆる「アクセス」）やデータセンタ向け通信設備であり、当社製品が属する中長距離通信網（いわゆる「メトロ」「ロングホール」）では、次世代規格の選定を巡って試行錯誤が続いている状況が影響し、当第2四半期における売上高は486百万円と、前第2四半期に比して7.4%の減少となりました。第1四半期連結累計期間において、複数の顧客において購入計画の遅れが見られましたが、一部を取り戻す形となりました。第2四半期連結累計期間でセグメント損失は3百万円となり、前第2四半期のセグメント損失92百万円に比して大幅に改善しております。

② 光測定器関連事業

同事業における当第2四半期の売上高は、582百万円と、前第2四半期の770百万円に比して24.3%の減少となりました。これは、OCT製品において前第2四半期の売上に寄与した大口受注の反動減が原因です。OCT製品に限定すると、前年比54.7%減となっておりますが、平成25年3月期第2四半期と比較しますと2倍以上の増加となっております。

一方、光測定器製品に関しましては、波長可変光源製品の引き合いが引き続き好調で、前第2四半期に比して売上が33.0%増加しております。セグメント損失は55百万円（前第2四半期はセグメント利益162百万円）となりました。これは上述の要因に加え、将来の成長のため研究開発費を積み増していることによるものです。

③ システム・ソリューション事業

同事業においては、モバイルデバイスなどからPCを操作するPC遠隔操作ソリューションの販売が引き続き好調だったことから当第2四半期の売上高は210百万円となり、前第2四半期の171百万円に比して22.6%増加いたしました。セグメント利益は37百万円と、前第2四半期の25百万円に比して46.9%増加しております。

当社グループは、平成26年5月、モバイルデバイスでの文字入力効率を劇的に改善する「誤入力修正ソリューション」の開発元と業務資本提携を行い、新たなサービスを日本に提供すべく取り組みを進めております。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

当第2四半期末の総資産は、前連結会計年度末（8,690百万円）に比べて55百万円減少し、8,634百万円となりました。これは、売掛金の減少及び投資有価証券の減少などがあったことによるものであります。

② 負債

当第2四半期末の負債は、前連結会計年度末（1,039百万円）に比べて25百万円減少し、1,014百万円となりました。これは、未払費用などのその他流動負債の減少及び繰延税金負債などのその他固定負債の減少があったことによるものであります。

③ 純資産

当第2四半期末の純資産は、前連結会計年度末(7,650百万円)に比べて29百万円減少し、7,620百万円となりました。これは、その他有価証券評価差額金の減少があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

光通信分野におきましては、通信設備投資の必要性は高まっているものの、主力の中長距離向け光部品製品に関連して投資抑制の動きがあることから、当社グループを取り巻く環境は厳しい状況が続くと考えております。一方、データセンタ関連での需要が活況であること、光測定器製品の需要が伸びていることから、市場開拓の重要性を認識し、これらの分野に注力する必要があると考えております。当社グループは、このような環境の中、市場の動向を正確に見極め、革新的な発想のもと、成長のための研究開発投資を惜しまず、将来の発展に向けて全力を尽くしてまいります。

通期業績予想ならびに期末配当予想につきましては、平成26年6月6日付発表のものから変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、これによると著しく合理性を欠く結果となる場合には「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」第19項の規定により、「中間財務諸表等における税効果会計に関する実務指針」第12項(法定実効税率を使用する方法)に準じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,798,992	1,853,240
受取手形及び売掛金	871,418	712,686
電子記録債権	25,052	1,980
有価証券	115,470	253,347
商品及び製品	200,765	227,873
仕掛品	25,458	51,236
原材料	104,377	132,939
その他	74,711	49,868
貸倒引当金	△2,530	△2,321
流動資産合計	3,213,716	3,280,849
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,715,736	1,683,659
機械装置及び運搬具(純額)	385	13,632
土地	1,608,877	1,608,877
リース資産(純額)	2,590	2,343
建設仮勘定	-	10,230
その他(純額)	41,903	61,743
有形固定資産合計	3,369,492	3,380,486
無形固定資産	81,620	83,670
投資その他の資産		
投資有価証券	1,991,836	1,856,928
その他	33,632	32,923
投資その他の資産合計	2,025,468	1,889,852
固定資産合計	5,476,581	5,354,008
資産合計	8,690,298	8,634,858

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	237,639	230,808
未払法人税等	28,523	84,057
賞与引当金	16,215	49,451
その他	178,660	155,582
流動負債合計	461,040	519,899
固定負債		
退職給付に係る負債	329,649	345,355
資産除去債務	11,362	11,492
その他	237,936	137,313
固定負債合計	578,947	494,161
負債合計	1,039,987	1,014,061
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,978,566	4,978,566
資本剰余金	1,209,465	1,209,465
利益剰余金	947,125	1,089,648
自己株式	△119	△119
株主資本合計	7,135,037	7,277,561
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	562,794	368,613
為替換算調整勘定	△47,521	△25,377
その他の包括利益累計額合計	515,272	343,235
純資産合計	7,650,310	7,620,796
負債純資産合計	8,690,298	8,634,858

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	1,466,483	1,279,251
売上原価	786,826	652,352
売上総利益	679,657	626,899
販売費及び一般管理費	583,978	648,811
営業利益又は営業損失(△)	95,678	△21,912
営業外収益		
受取利息	26,882	28,598
受取配当金	8,302	29,838
為替差益	29,053	40,890
その他	15,484	18,549
営業外収益合計	79,723	117,877
営業外費用		
支払利息	10	20
不動産賃貸費用	8,846	7,621
休止固定資産関係費用	11,817	11,652
その他	2,979	0
営業外費用合計	23,653	19,293
経常利益	151,748	76,671
特別利益		
固定資産売却益	—	259
投資有価証券売却益	9,162	—
投資有価証券償還益	1,527	—
受取補償金	—	211,277
特別利益合計	10,689	211,536
特別損失		
固定資産除却損	30	45
特別損失合計	30	45
税金等調整前四半期純利益	162,408	288,163
法人税等	10,497	73,875
少数株主損益調整前四半期純利益	151,911	214,288
四半期純利益	151,911	214,288

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	151,911	214,288
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	113,793	△194,181
為替換算調整勘定	14,665	22,143
その他の包括利益合計	128,459	△172,037
四半期包括利益	280,370	42,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	280,370	42,250
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	162,408	288,163
減価償却費	60,882	56,206
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,517	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	15,706
賞与引当金の増減額(△は減少)	36,038	33,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	-	△356
受取利息及び受取配当金	△35,184	△58,437
支払利息	10	20
為替差損益(△は益)	△24,042	△32,716
投資有価証券売却損益(△は益)	△9,162	-
投資有価証券償還損益(△は益)	△1,527	-
固定資産除却損	30	45
固定資産売却損益(△は益)	-	△259
売上債権の増減額(△は増加)	167,452	196,752
たな卸資産の増減額(△は増加)	△43,629	△81,440
仕入債務の増減額(△は減少)	22,520	△20,995
未払消費税等の増減額(△は減少)	△17,046	△5,257
その他	△79,379	30,703
小計	245,889	421,134
利息及び配当金の受取額	39,968	61,284
利息の支払額	△10	△20
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△20,544	△29,364
営業活動によるキャッシュ・フロー	265,302	453,034
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△16,158	△71,687
有形固定資産の売却による収入	-	259
無形固定資産の取得による支出	△4,760	△5,920
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△498,697	△290,216
投資有価証券の売却及び償還による収入	302,160	-
その他	337	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△217,118	△367,564
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△35,519	△71,545
自己株式の取得による支出	△13	-
リース債務の返済による支出	△130	△260
財務活動によるキャッシュ・フロー	△35,663	△71,805
現金及び現金同等物に係る換算差額	44,625	54,262
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	57,146	67,925
現金及び現金同等物の期首残高	1,727,737	1,826,922
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,784,883	1,894,848

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	524,645	770,108	171,730	1,466,483
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	524,645	770,108	171,730	1,466,483
セグメント利益又は損失(△)	△92,371	162,429	25,620	95,678

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	光部品 関連事業	光測定器 関連事業	システム・ ソリューション 事業	合計 (注)
売上高				
外部顧客への売上高	486,028	582,744	210,478	1,279,251
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	486,028	582,744	210,478	1,279,251
セグメント利益又は損失(△)	△3,652	△55,900	37,640	△21,912

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。